

平成15年9月17日公表

近年まで農業を営んでいた方への意向調査結果

調査結果の概要

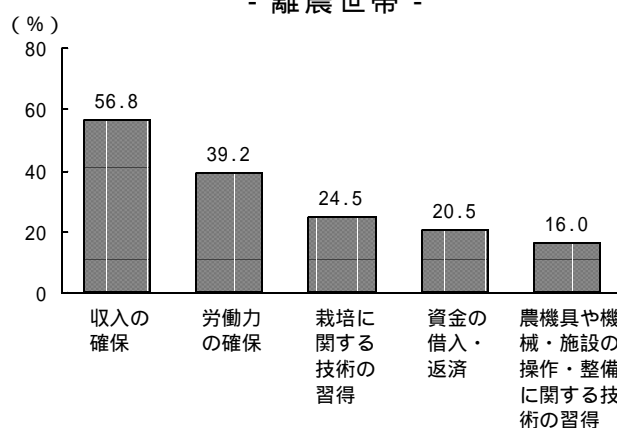
1 農業経営時に困難さを感じた点について 【離農世帯】

- 収入の確保が6割、労働力の確保が4割 -

農業経営時に困難さを感じた点については、「収入の確保」が6割、「労働力の確保」が4割となっている。

図1 農業経営時に困難さを感じた点について（複数回答）

- 離農世帯 -



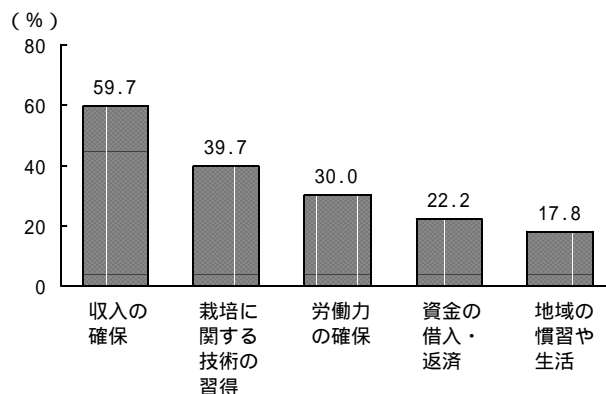
【新規就農者のうち離農者】

- 収入の確保が6割、栽培に関する技術の習得が4割 -

農業経営時に困難さを感じた点については、「収入の確保」が6割、「栽培に関する技術の習得」が4割、「労働力の確保」が3割となっている。

図2 農業経営時に困難さを感じた点について（複数回答）

- 新規就農者のうち離農者 -



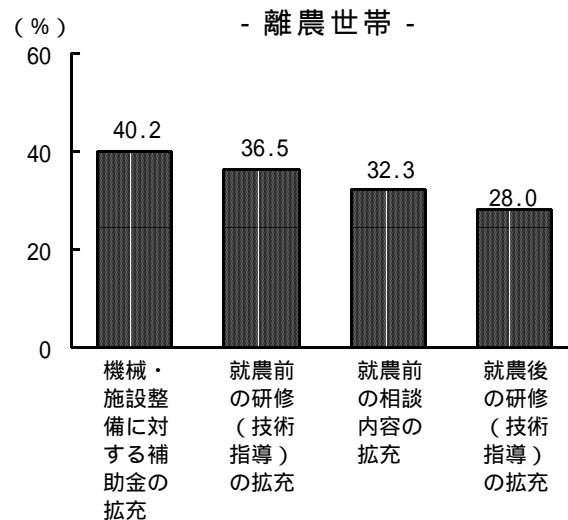
2 新しく農業を始める方に必要な方策・支援について

【離農世帯】

- 機械・施設整備に対する補助金の拡充、就農前の研修（技術指導）の拡充が、それぞれ4割 -

新しく農業を始める方に必要な支援・方策については、「機械・施設整備に対する補助金の拡充」、「就農前の研修（技術指導）の拡充」がそれぞれ4割、「就農前の相談内容の拡充」、「就農後の研修（技術指導）の拡充」がそれぞれ3割となっている。

図3 新しく農業を始める方に必要な方策・支援について（複数回答）

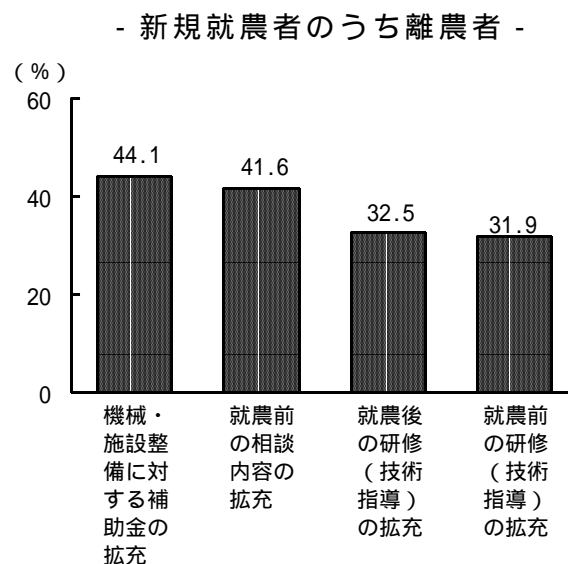


【新規就農者のうち離農者】

- 機械・施設整備に関する補助金の拡充、就農前の相談内容の拡充が、それぞれ4割 -

新しく農業を始める方に必要な支援・方策については、「機械・施設整備に対する補助金の拡充」、「就農前の相談内容の拡充」がそれぞれ4割、「就農後の研修（技術指導）の拡充」、「就農前の研修（技術指導）の拡充」がそれぞれ3割となっている。

図4 新しく農業を始める方に必要な方策・支援について（複数回答）



解 説

1 農業経営時に困難さを感じた点について

【離農世帯】

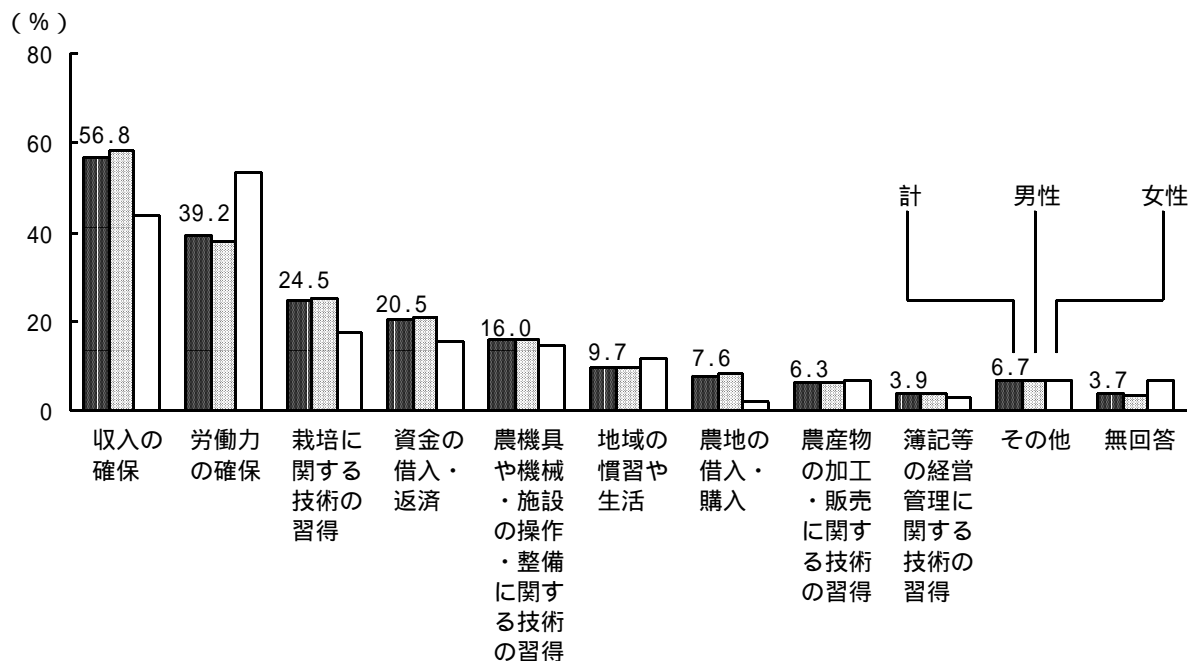
- 収入の確保が6割、労働力の確保が4割 -

農業経営時に困難さを感じた点については「収入の確保」が56.8%と最も高く、次いで、「労働力の確保」が39.2%、「栽培に関する技術の習得」が24.5%、「資金の借入・返済」が20.5%、「農機具や機械・施設の操作・整備に関する技術の習得」が16.0%の順となっている。

また、生計責任者の男女別にみると、男性では、「収入の確保」が58.2%と最も高く、次いで、「労働力の確保」が37.7%、「栽培に関する技術の習得」が25.3%、「資金の借入・返済」が21.0%、「農機具や機械・施設の操作・整備に関する技術の習得」が16.1%の順となっているのに対し、女性では、「労働力の確保」が53.4%と最も高く、次いで、「収入の確保」が43.7%、「栽培に関する技術の習得」が17.5%、「資金の借入・返済」が15.5%の順となっている。

図5 農業経営時に困難さを感じた点について（複数回答）

- 離農世帯 -



【新規就農者のうち離農者】

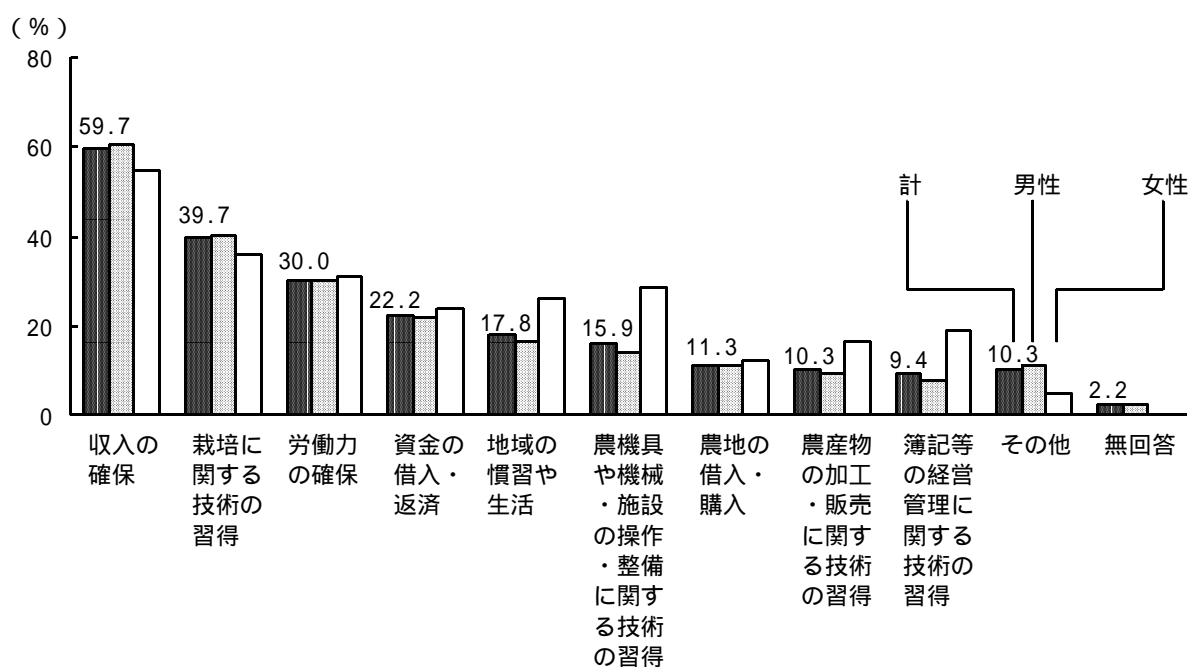
- 収入の確保が6割、栽培に関する技術の習得が4割 -

農業経営時に困難さを感じた点については「収入の確保」が59.7%と最も高く、次いで、「栽培に関する技術の習得」が39.7%、「労働力の確保」が30.0%、「資金の借入・返済」が22.2%、「地域の慣習や生活」が17.8%、「農機具や機械・施設の操作・整備に関する技術の習得」が15.9%の順となっている。

また、男女別にみると、男性では、「収入の確保」が60.4%と最も高く、次いで、「栽培に関する技術の習得」が40.3%、「労働力の確保」が29.9%、「資金の借入・返済」が21.9%、「地域の慣習や生活」が16.5%の順となっており、女性では、「収入の確保」が54.8%と最も高く、次いで、「栽培に関する技術の習得」が35.7%、「労働力の確保」が31.0%、「農機具や機械・施設の操作・整備に関する技術の習得」が28.6%、「地域の慣習や生活」が26.2%、「資金の借入・返済」が23.8%、「簿記等の経営管理に関する技術の習得」が19.0%、「農産物の加工・販売に関する技術の習得」が16.7%の順となっている。

図6 農業経営時に困難さを感じた点について（複数回答）

- 新規就農者のうち離農者 -



2 農業経営を断念した理由について

【離農世帯】

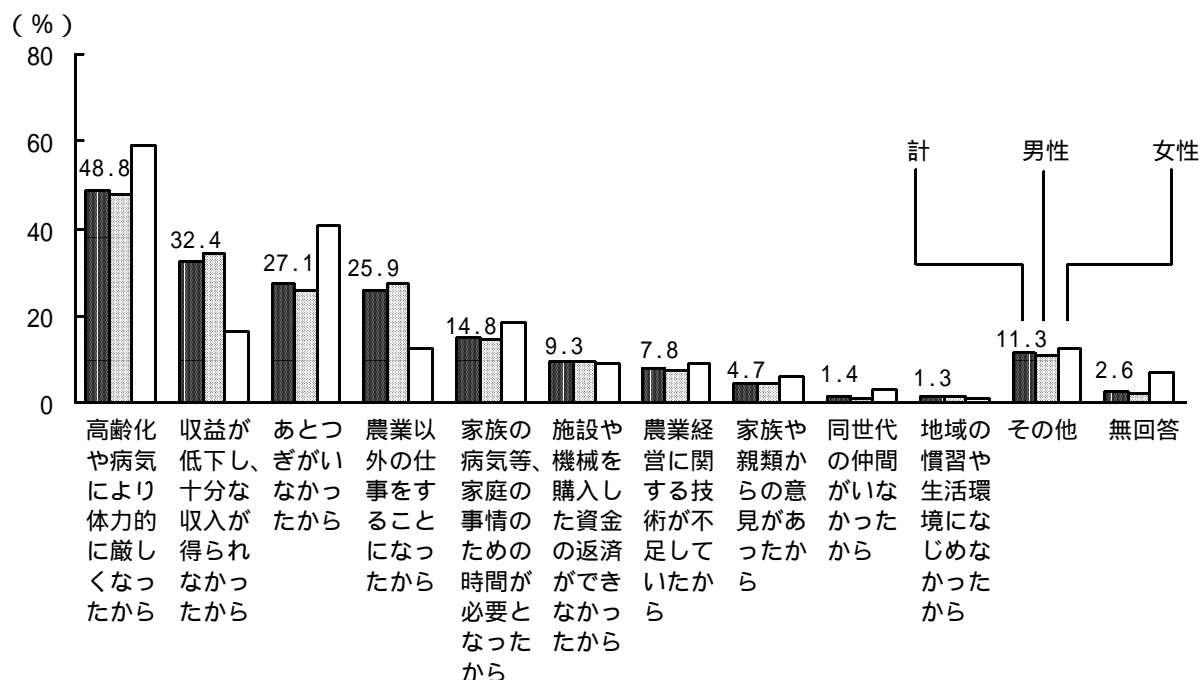
- 高齢化等による理由が5割 -

農業経営を断念した理由については「高齢化や病気により体力的に厳しくなったから」が48.8%と最も高く、次いで、「収益が低下し、十分な収入が得られなかったから」が32.4%、「あとつぎがいなかったから」が27.1%、「農業以外の仕事をするようになったから」が25.9%の順となっている。

また、生計責任者の男女別にみると、男性では、「高齢化や病気により体力的に厳しくなったから」が47.7%と最も高く、次いで、「収益が低下し、十分な収入が得られなかったから」が34.1%、「農業以外の仕事をするようになったから」が27.4%、「あとつぎがいなかったから」が25.6%の順となっているのに対し、女性では、「高齢化や病気により体力的に厳しくなったから」が59.2%と最も高く、次いで、「あとつぎがいなかったから」が40.8%、「家族の病気等、家庭の事情のため時間が必要になったから」が18.4%、「収益が低下し、十分な収入が得られなかったから」が16.5%の順となっている。

図7 農業経営を断念した理由について（複数回答）

- 離農世帯 -



【新規就農者のうち離農者】

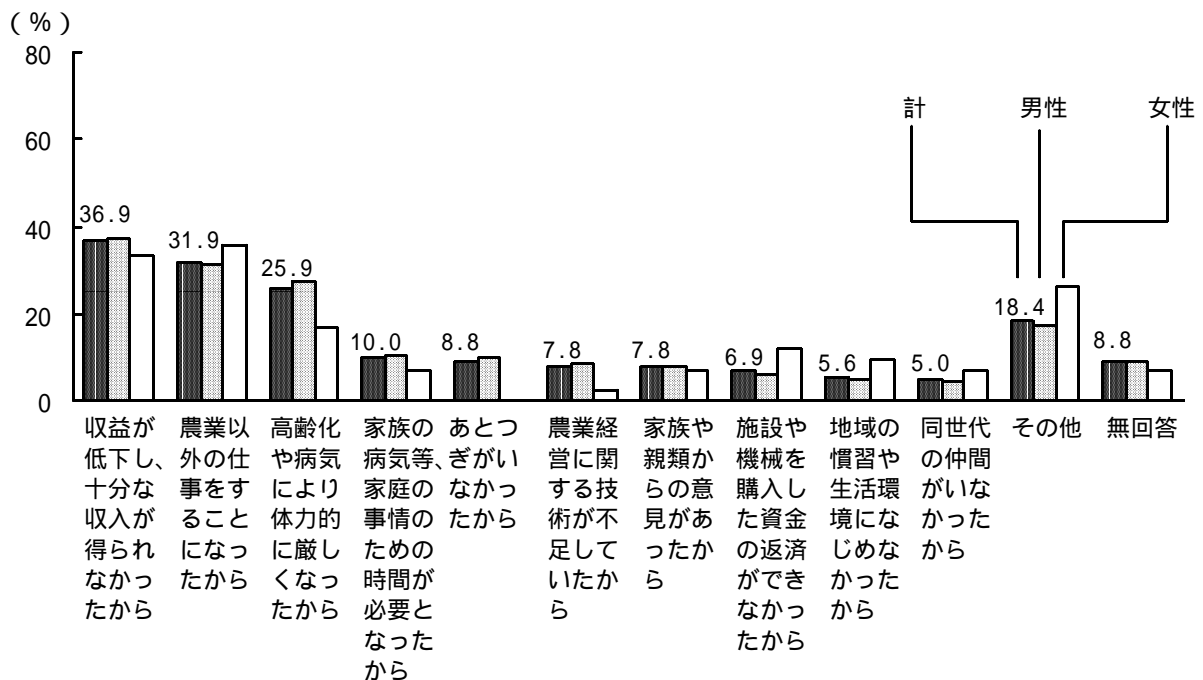
- 収益低下による理由が4割 -

農業経営を断念した理由については「収益が低下し、十分な収入が得られなかったから」が36.9%と最も高く、次いで、「農業以外の仕事をするようになったから」が31.9%、「高齢化や病気により体力的に厳しくなったから」が25.9%となっている。

また、男女別にみると、男性では、「収益が低下し、十分な収入が得られなかったから」が37.4%と最も高く、次いで、「農業以外の仕事をするようになったから」が31.3%、「高齢化や病気により体力的に厳しくなったから」が27.3%の順となっているのに対し、女性では、「農業以外の仕事をするようになったから」が35.7%と最も高く、次いで、「収益が低下し、十分な収入が得られなかったから」が33.3%、「高齢化や病気により体力的に厳しくなったから」が16.7%の順となっている。

図8 農業経営を断念した理由について（複数回答）

- 新規就農者のうち離農者 -



3 農業を営んでいた理由について

【離農世帯】

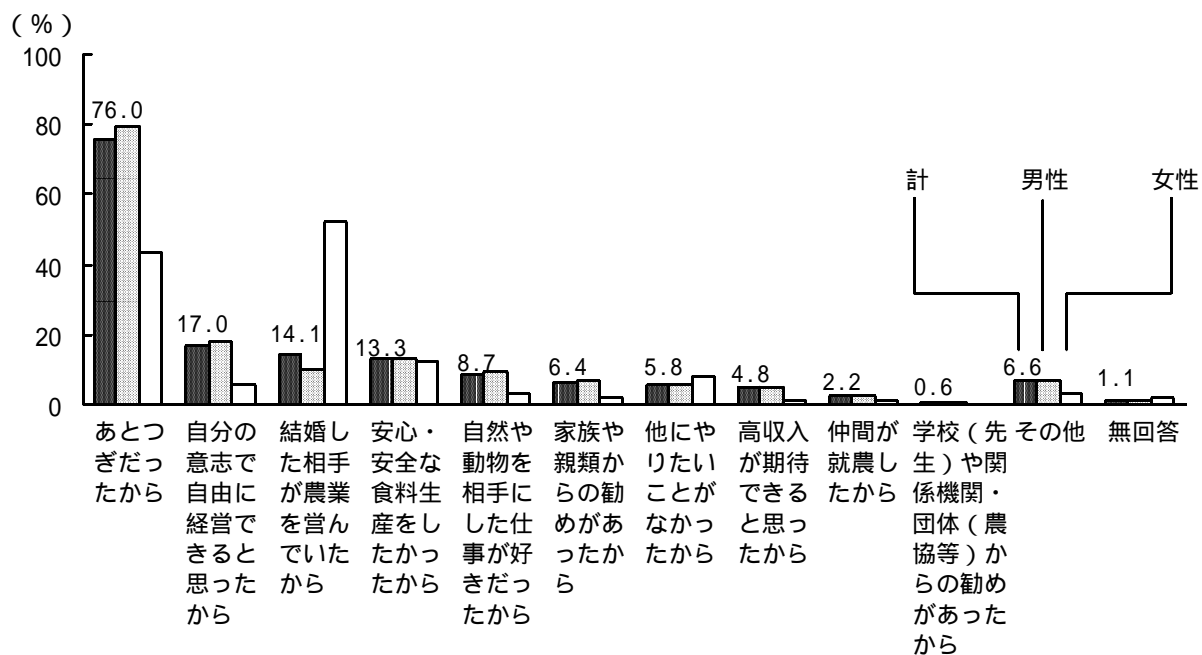
- あとつぎだったからが8割、自分で自由に経営できると思ったからが2割 -

農業を営んでいた理由については「あとつぎだったから」が76.0%と最も高く、次いで、「自分の意志で自由に経営できると思ったから」が17.0%となっている。

また、生計責任者の男女別にみると、男性では、「あとつぎだったから」が79.5%と最も高く、次いで、「自分の意志で自由に経営できると思ったから」が18.2%となっているのに対し、女性では、「結婚した相手が農業を営んでいたから」が52.4%と最も高く、次いで、「あとつぎだったから」が43.7%となっている。

図9 農業を営んでいた理由について（複数回答）

- 離農世帯 -



【新規就農者のうち離農者】

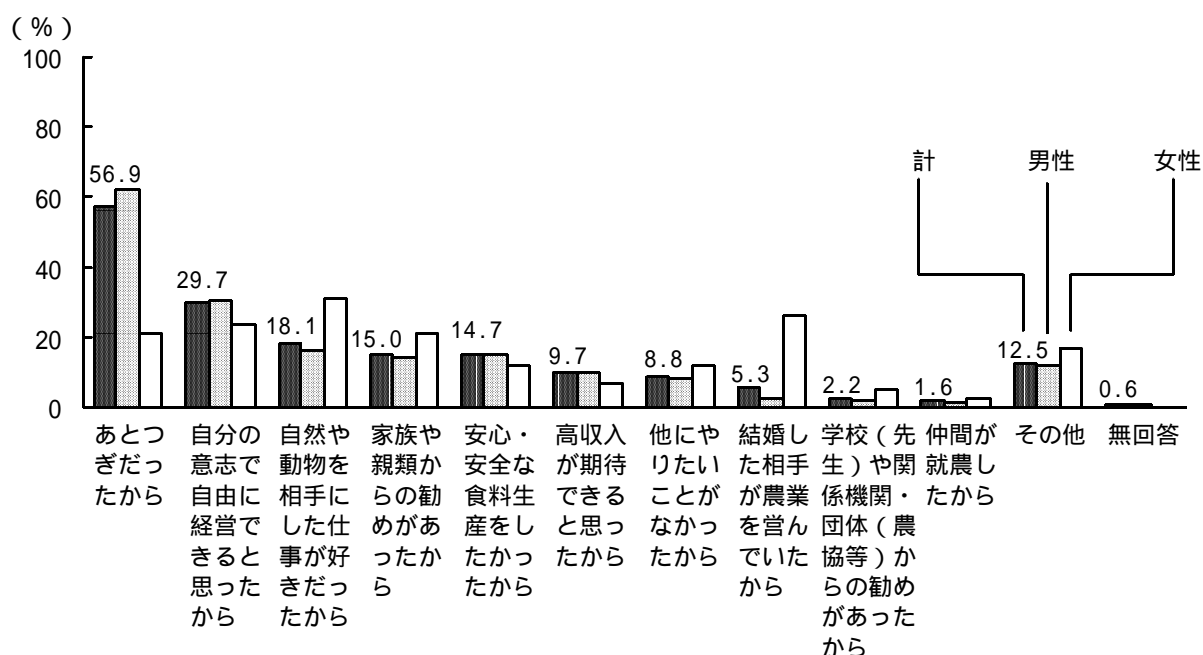
- あとつぎだったからが6割、自由に経営できると思ったからが3割 -

農業を営んでいた理由については「あとつぎだったから」が56.9%と最も高く、次いで、「自分の意志で自由に経営できると思ったから」が29.7%、「家族や親類からの勧めがあったから」が15.0%の順となっている。

また、男女別にみると、男性では、「あとつぎだったから」が62.2%と最も高く、次いで、「自分の意志で自由に経営できると思ったから」が30.6%、「自然や動物を相手にした仕事が好きだったから」が16.2%、「安心・安全な食料生産をしたかったから」が15.1%の順となっているのに対し、女性では、「自然や動物を相手にした仕事が好きだったから」が31.0%と最も高く、次いで、「結婚した相手が農業を営んでいたから」が26.2%、「自分の意志で自由に経営できると思ったから」が23.8%、「あとつぎだったから」、「家族や親類からの勧めがあったから」がそれぞれ21.4%の順となっている。

図10 農業を営んでいた理由について（複数回答）

- 新規就農者のうち離農者 -



4 農業経営に関する相談相手について

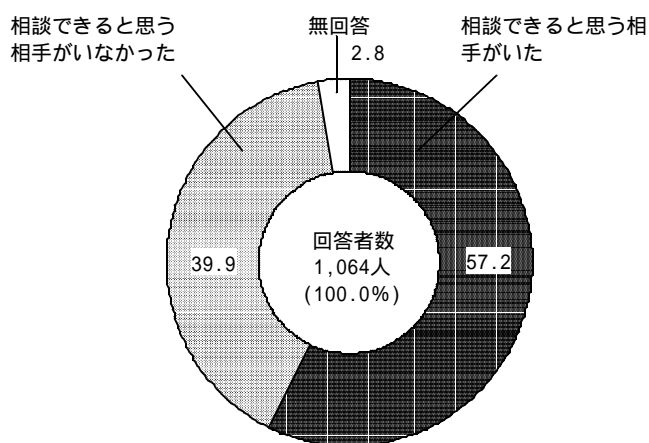
【離農世帯】

- 相談相手有りが6割、無しが4割 -

農業経営に関して、「相談できると思う相手がいた」が57.2%となっているのに対し、「相談できると思う相手がいなかった」が39.9%となっている。

図11 農業経営に関する相談相手の有無について

- 離農世帯 -



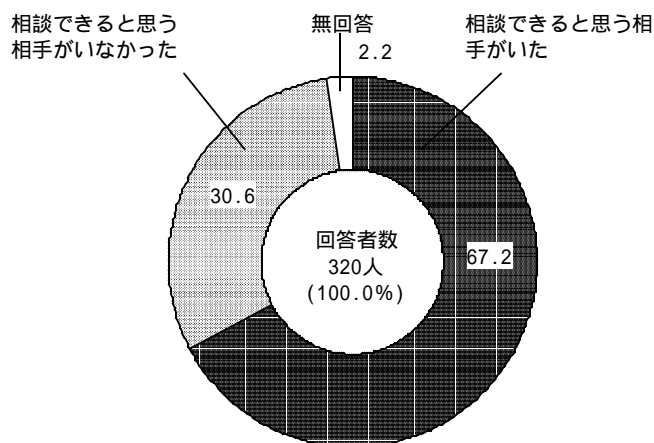
【新規就農者のうち離農者】

- 相談相手有りが7割、無しが3割 -

農業経営に関して、「相談できると思う相手がいた」が67.2%となっているのに対し、「相談できると思う相手がなかった」が30.6%となっている。

図12 農業経営に関する相談相手の有無について

- 新規就農者のうち離農者 -



5 再度、農業経営を行う意向について

【離農世帯】

- 考えていないが7割、考えているが2割 -

再度、農業経営を行う意向については、「考えていない」が72.8%となっている。

また、「考えているが、準備はしていない」が19.5%、「考えていて、準備をしている」が5.4%となっており、回答者の2割が再度、農業経営を行う意向を示している。

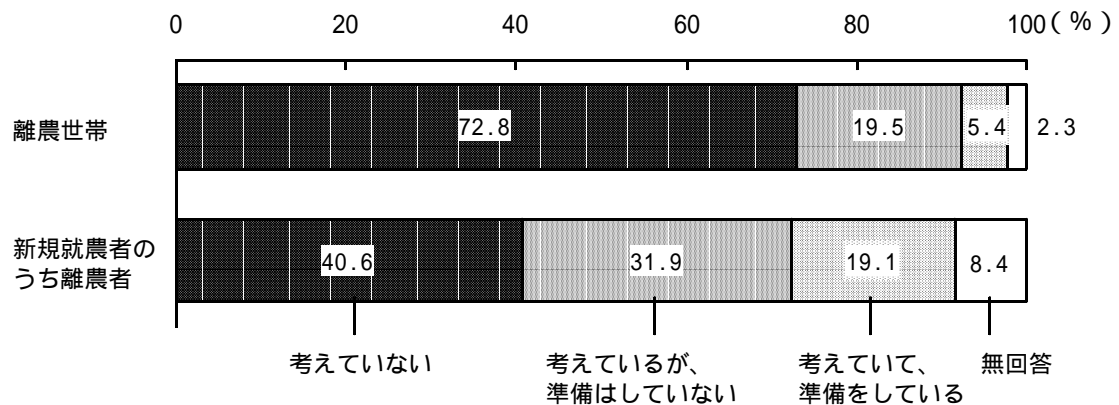
【新規就農者のうち離農者】

- 考えているが5割、考えていないが4割 -

再度、農業経営を行う意向については、「考えているが、準備はしていない」が31.9%、「考えていて、準備をしている」が19.1%となっており、回答者の5割が再度、農業経営を行う意向を示している。

また、「考えていない」が40.6%となっている。

図13 再度、農業経営を行う意向について



6 新しく農業を始める方に必要な方策・支援について

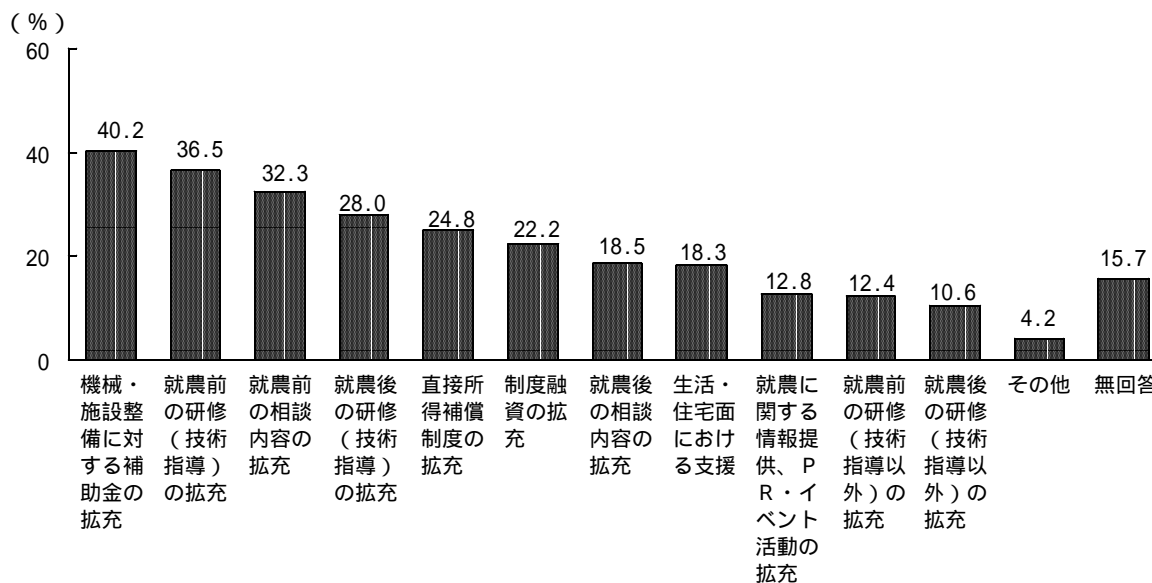
【離農世帯】

- 機械・施設整備に対する補助金の拡充、就農前の研修（技術指導）の拡充が、それぞれ4割 -

新しく農業を始める方に必要な支援・方策については、「機械・施設整備に対する補助金の拡充」が40.2%と最も高く、次いで「就農前の研修（技術指導）の拡充」が36.5%、「就農前の相談内容の拡充」が32.3%、「就農後の研修（技術指導）の拡充」が28.0%、「直接所得補償制度の拡充」が24.8%、「制度融資の拡充」が22.2%、「就農後の相談内容の拡充」が18.5%、「生活・住宅面における支援」が18.3%、「就農に関する情報提供、PR・イベント活動の拡充」が12.8%、「就農前の研修（技術指導以外）の拡充」が12.4%、「就農後の研修（技術指導以外）の拡充」が10.6%、「その他」が4.2%、「無回答」が15.7%の順となっている。

図14 新しく農業を始める方に必要な方策・支援について
（複数回答）

- 離農世帯 -



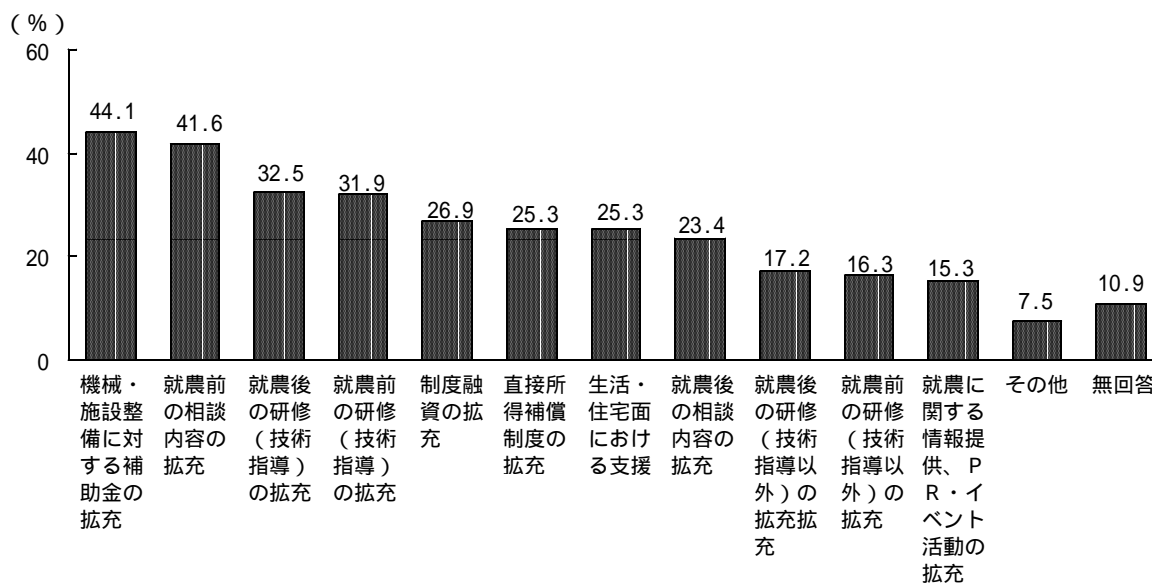
【新規就農者のうち離農者】

- 機械・施設整備に関する補助金の拡充、就農前の相談内容の拡充が、それぞれ4割 -

新しく農業を始める方に必要な支援・方策については、「機械・施設整備に対する補助金の拡充」が44.1%と最も高く、次いで「就農前の相談内容の拡充」が41.6%、「就農後の研修（技術指導）の拡充」が32.5%、「就農前の研修（技術指導）の拡充」が31.9%、「制度融資の拡充」が26.9%、「直接所得補償制度の拡充」、「生活・住宅面における支援」がそれぞれ25.3%、「就農後の相談内容の拡充」が23.4%、「就農後の研修（技術指導以外）の拡充」が17.2%、「就農前の研修（技術指導以外）の拡充」が16.3%、「就農に関する情報提供、PR・イベント活動の拡充」が15.3%の順となっている。

図15 新しく農業を始める方に必要な方策・支援について
(複数回答)

- 新規就農者のうち離農者 -



7 就農前の相談で重要となる内容について

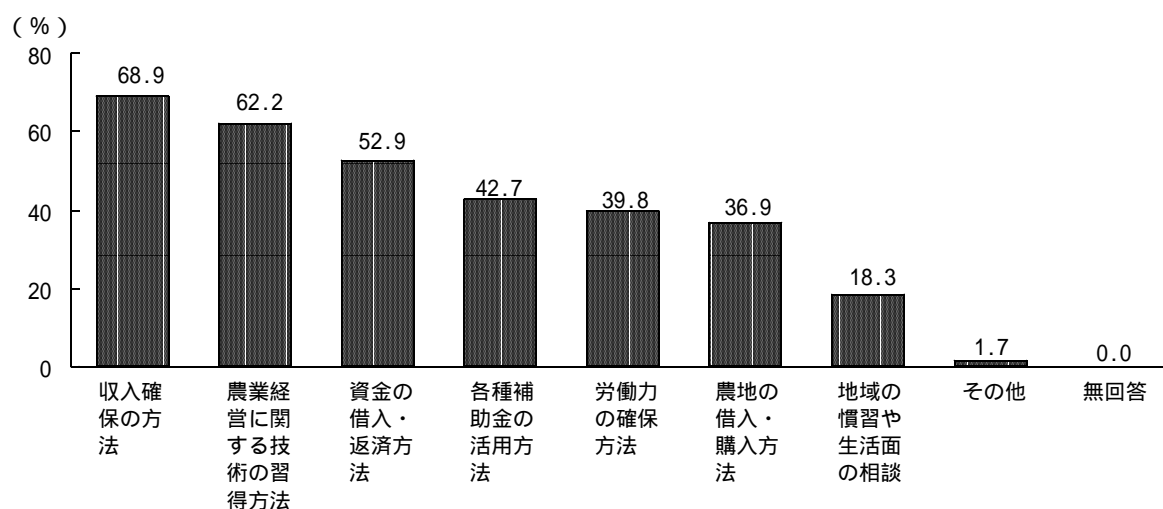
【離農世帯】

- 収入確保の方法が7割、農業経営に関する技術の習得方法が6割 -

就農前の相談で重要となる内容については、「収入確保の方法」が68.9%と最も高く、次いで「農業経営に関する技術の習得方法」が62.2%、「資金の借入・返済方法」が52.9%、「各種補助金の活用方法」が42.7%、「労働力の確保方法」が39.8%、「農地の借入・購入方法」が36.9%、「地域の慣習や生活面の相談」が18.3%の順となっている。

図16 就農前の相談で重要となる内容について
(複数回答)

- 離農世帯 -



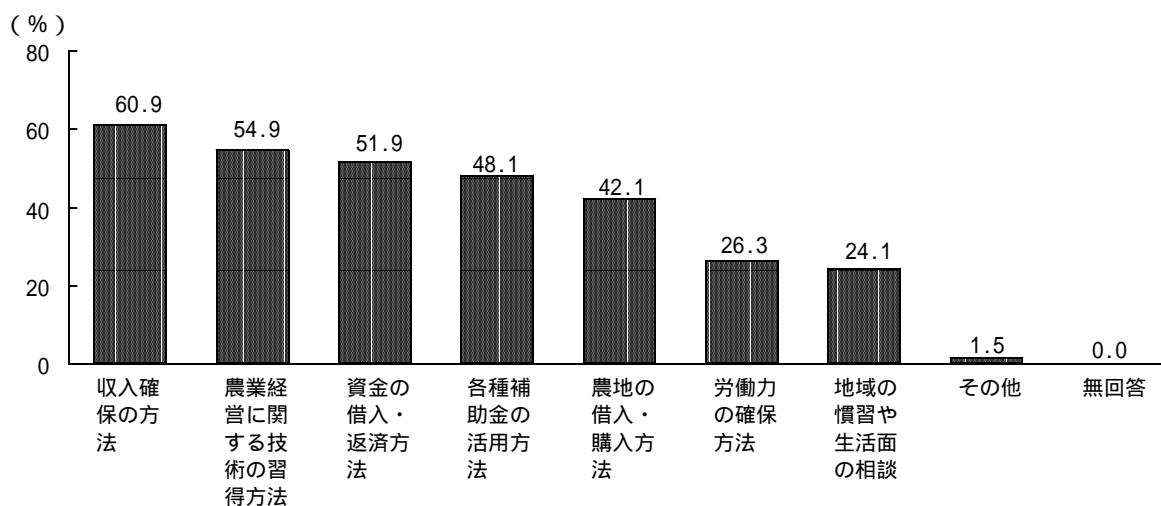
【新規就農者のうち離農者】

- 収入確保の方法が6割、農業経営に関する技術の習得方法が5割 -

就農前の相談で重要となる内容については、「収入確保の方法」が60.9%と最も高く、次いで「農業経営に関する技術の習得方法」が54.9%、「資金の借入・返済方法」が51.9%、「各種補助金の活用方法」が48.1%、「農地の借入・購入方法」が42.1%、「労働力の確保方法」が26.3%、「地域の慣習や生活面の相談」が24.1%の順となっている。

図17 就農前の相談で重要となる内容について
(複数回答)

- 新規就農者のうち離農者 -



【統計表】

1 農業経営時に困難さを感じた点について（複数回答）

（1）離農世帯

区 分	回答者数	計	資金の借入・返済	収入の確保	農地の借入・購入	労働力の確保
計	1 064	100.0	20.5	56.8	7.6	39.2
男 女						
男	961	100.0	21.0	58.2	8.2	37.7
女	103	100.0	15.5	43.7	1.9	53.4
年 齢						
40 歳 未 満	7	100.0	14.3	85.7	14.3	57.1
40 歳 以 上	1 057	100.0	20.5	56.6	7.6	39.1
経 営 部 門 別						
水 稲 ・ 陸 稲	727	100.0	16.8	52.5	6.7	40.2
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	83	100.0	27.7	68.7	10.8	38.6
果 樹 類	75	100.0	21.3	68.0	8.0	44.0
そ の 他 の 耕 種	124	100.0	25.0	67.7	8.9	33.1
畜 産（養 蚕 を 含 む）	55	100.0	47.3	54.5	10.9	34.5

（2）新規就農者のうち離農者

区 分	回答者数	計	資金の借入・返済	収入の確保	農地の借入・購入	労働力の確保
計	320	100.0	22.2	59.7	11.3	30.0
男 女						
男	278	100.0	21.9	60.4	11.2	29.9
女	42	100.0	23.8	54.8	11.9	31.0
年 齢						
40 歳 未 満	177	100.0	25.4	59.3	11.3	27.1
40 歳 以 上	143	100.0	18.2	60.1	11.2	33.6
経 営 部 門 別						
水 稲 ・ 陸 稲	97	100.0	21.6	67.0	11.3	38.1
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	91	100.0	16.5	45.1	13.2	28.6
果 樹 類	37	100.0	13.5	73.0	5.4	21.6
そ の 他 の 耕 種	65	100.0	30.8	66.2	13.8	27.7
畜 産（養 蚕 を 含 む）	30	100.0	33.3	50.0	6.7	23.3

単位：%

栽培に関する 技術の習得	簿記等の経営 管理に関する 技術の習得	農産物の加工 ・販売に関 する技術の習 得	農機具や機 械・施設の操 作・整備に関 する技術の習 得	地域の慣習や 生活	そ の 他	無 回 答	区 分
24.5	3.9	6.3	16.0	9.7	6.7	3.7	1
25.3	4.1	6.2	16.1	9.5	6.7	3.3	2
17.5	2.9	6.8	14.6	11.7	6.8	6.8	3
28.6	14.3	-	42.9	42.9	-	-	4
24.5	3.9	6.3	15.8	9.5	6.7	3.7	5
23.0	3.0	5.0	18.6	10.0	7.3	3.6	6
30.1	3.6	10.8	13.3	9.6	6.0	3.6	7
32.0	4.0	8.0	8.0	12.0	4.0	4.0	8
25.8	7.3	11.3	12.1	6.5	5.6	4.0	9
23.6	9.1	3.6	5.5	9.1	5.5	3.6	10

単位：%

栽培に関する 技術の習得	簿記等の経営 管理に関する 技術の習得	農産物の加工 ・販売に関 する技術の習 得	農機具や機 械・施設の操 作・整備に関 する技術の習 得	地域の慣習や 生活	そ の 他	無 回 答	区 分
39.7	9.4	10.3	15.9	17.8	10.3	2.2	1
40.3	7.9	9.4	14.0	16.5	11.2	2.5	2
35.7	19.0	16.7	28.6	26.2	4.8	-	3
45.8	14.1	12.4	18.6	22.6	10.7	2.8	4
32.2	3.5	7.7	12.6	11.9	9.8	1.4	5
36.1	5.2	10.3	21.6	14.4	7.2	2.1	6
47.3	8.8	4.4	11.0	18.7	11.0	3.3	7
45.9	13.5	16.2	10.8	10.8	13.5	-	8
41.5	9.2	13.8	16.9	20.0	7.7	1.5	9
16.7	20.0	13.3	16.7	30.0	20.0	3.3	10

2 農業経営を断念した理由について（複数回答）

（1）離農世帯

区 分	回答者数	計	高齢化や病気の により体力的 に厳しくなっ たから	家族の病気の 等、家庭の事 情のための時 間が必要とな ったから	あとつぎがい なかったから	農業以外の仕 事をするこ とになったから
計	1	1 064	48.8	14.8	27.1	25.9
男	2	961	47.7	14.5	25.6	27.4
女	3	103	59.2	18.4	40.8	12.6
年 齢	4	7	14.3	42.9	14.3	57.1
40 歳 未 満	5	1 057	49.0	14.7	27.2	25.7
40 歳 以 上	6	727	50.9	14.4	27.0	27.5
経 営 部 門 別	7	83	47.0	18.1	26.5	21.7
水 稲 ・ 陸 稲	8	75	50.7	18.7	33.3	18.7
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	9	124	41.9	15.3	21.0	25.0
果 樹 類	10	55	36.4	9.1	34.5	23.6
そ の 他 の 耕 種						
畜 産（養 蚕 を 含 む）						

（2）新規就農者のうち離農者

区 分	回答者数	計	高齢化や病気の により体力的 に厳しくなっ たから	家族の病気の 等、家庭の事 情のための時 間が必要とな ったから	あとつぎがい なかったから	農業以外の仕 事をするこ とになったから
計	1	320	25.9	10.0	8.8	31.9
男	2	278	27.3	10.4	10.1	31.3
女	3	42	16.7	7.1	-	35.7
年 齢	4	177	4.5	11.3	2.3	43.5
40 歳 未 満	5	143	52.4	8.4	16.8	17.5
40 歳 以 上	6	97	50.5	10.3	17.5	22.7
経 営 部 門 別	7	91	20.9	9.9	6.6	35.2
水 稲 ・ 陸 稲	8	37	16.2	-	10.8	45.9
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	9	65	10.8	12.3	1.5	32.3
果 樹 類	10	30	6.7	16.7	-	33.3
そ の 他 の 耕 種						
畜 産（養 蚕 を 含 む）						

単位：%

収益が低下し、十分な収入が得られなかったから	施設や機械を購入した資金の返済ができなかったから	農業経営に関する技術が不足していたから	地域の慣習や生活環境になじめなかったから	同世代の仲間がいなかったから	家族や親類からの意見があったから	その他	無回答	区分
32.4	9.3	7.8	1.3	1.4	4.7	11.3	2.6	1
34.1	9.4	7.7	1.4	1.2	4.6	11.1	2.2	2
16.5	8.7	8.7	1.0	2.9	5.8	12.6	6.8	3
28.6	14.3	42.9	14.3	-	42.9	-	-	4
32.5	9.3	7.6	1.2	1.4	4.4	11.4	2.6	5
33.1	8.7	8.1	1.7	1.8	4.8	11.8	1.9	6
33.7	8.4	7.2	1.2	-	2.4	8.4	4.8	7
36.0	14.7	5.3	-	-	8.0	6.7	4.0	8
28.2	6.5	8.1	0.8	0.8	4.8	12.1	3.2	9
25.5	18.2	7.3	-	1.8	1.8	12.7	5.5	10

単位：%

収益が低下し、十分な収入が得られなかったから	施設や機械を購入した資金の返済ができなかったから	農業経営に関する技術が不足していたから	地域の慣習や生活環境になじめなかったから	同世代の仲間がいなかったから	家族や親類からの意見があったから	その他	無回答	区分
36.9	6.9	7.8	5.6	5.0	7.8	18.4	8.8	1
37.4	6.1	8.6	5.0	4.7	7.9	17.3	9.0	2
33.3	11.9	2.4	9.5	7.1	7.1	26.2	7.1	3
37.9	6.2	11.3	7.9	8.5	11.9	26.0	4.5	4
35.7	7.7	3.5	2.8	0.7	2.8	9.1	14.0	5
29.9	6.2	7.2	-	2.1	5.2	12.4	9.3	6
38.5	5.5	7.7	7.7	4.4	8.8	17.6	8.8	7
43.2	2.7	5.4	2.7	8.1	-	18.9	8.1	8
44.6	12.3	9.2	10.8	6.2	12.3	23.1	6.2	9
30.0	6.7	10.0	10.0	10.0	13.3	30.0	13.3	10

3 農業を営んでいた理由について（複数回答）

（1）離農世帯

区 分	回答者数	計	あとつぎだっ たから	自然や動物を 相手にした仕 事が好きだっ たから	自分の意志で 自由に経営で きると思った から	高収入が期待 できると思っ たから
計	1	1 064	76.0	8.7	17.0	4.8
男 女	別					
男	性	961	79.5	9.4	18.2	5.2
女	性	103	43.7	2.9	5.8	1.0
年 齢	別					
40 歳 未	満	7	71.4	28.6	14.3	-
40 歳 以	上	1 057	76.1	8.6	17.0	4.8
経 営 部 門	別					
水 稲 ・ 陸 稲	6	727	79.2	7.0	12.7	3.3
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	7	83	69.9	12.0	31.3	9.6
果 樹 類	8	75	77.3	6.7	21.3	12.0
そ の 他 の 耕 種	9	124	70.2	8.9	28.2	5.6
畜 産（養 蚕 を 含 む）	10	55	54.5	29.1	21.8	5.5

（2）新規就農者のうち離農者

区 分	回答者数	計	あとつぎだっ たから	自然や動物を 相手にした仕 事が好きだっ たから	自分の意志で 自由に経営で きると思った から	高収入が期待 できると思っ たから
計	1	320	56.9	18.1	29.7	9.7
男 女	別					
男	性	278	62.2	16.2	30.6	10.1
女	性	42	21.4	31.0	23.8	7.1
年 齢	別					
40 歳 未	満	177	57.1	20.9	32.8	11.3
40 歳 以	上	143	56.6	14.7	25.9	7.7
経 営 部 門	別					
水 稲 ・ 陸 稲	6	97	68.0	11.3	24.7	6.2
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	7	91	49.5	17.6	29.7	11.0
果 樹 類	8	37	64.9	18.9	27.0	8.1
そ の 他 の 耕 種	9	65	43.1	23.1	36.9	12.3
畜 産（養 蚕 を 含 む）	10	30	63.3	30.0	33.3	13.3

単位：%

家族や親類からの勧めがあったから	学校(先生)や関係機関・団体(農協等)からの勧めがあったから	結婚した相手が農業を営んでいたから	安心・安全な食料生産をしたかったから	仲間が就農したから	他にやりたいことがなかったから	その他	無回答	区分
6.4	0.6	14.1	13.3	2.2	5.8	6.6	1.1	1
6.9	0.6	10.0	13.3	2.3	5.6	7.0	1.0	2
1.9	-	52.4	12.6	1.0	7.8	2.9	1.9	3
-	-	-	-	-	28.6	14.3	-	4
6.4	0.6	14.2	13.3	2.2	5.7	6.5	1.1	5
5.8	0.8	14.2	13.5	1.9	4.4	6.7	0.7	6
4.8	-	13.3	15.7	2.4	10.8	8.4	2.4	7
14.7	-	13.3	13.3	2.7	6.7	1.3	2.7	8
5.6	-	14.5	12.9	3.2	8.9	6.5	1.6	9
7.3	-	14.5	7.3	1.8	9.1	9.1	1.8	10

単位：%

家族や親類からの勧めがあったから	学校(先生)や関係機関・団体(農協等)からの勧めがあったから	結婚した相手が農業を営んでいたから	安心・安全な食料生産をしたかったから	仲間が就農したから	他にやりたいことがなかったから	その他	無回答	区分
15.0	2.2	5.3	14.7	1.6	8.8	12.5	0.6	1
14.0	1.8	2.2	15.1	1.4	8.3	11.9	0.7	2
21.4	4.8	26.2	11.9	2.4	11.9	16.7	-	3
19.2	2.8	3.4	9.6	1.7	12.4	14.7	1.1	4
9.8	1.4	7.7	21.0	1.4	4.2	9.8	-	5
11.3	2.1	7.2	18.6	-	6.2	9.3	-	6
14.3	2.2	4.4	14.3	3.3	12.1	14.3	1.1	7
24.3	-	-	10.8	-	10.8	16.2	2.7	8
13.8	4.6	6.2	12.3	3.1	9.2	9.2	-	9
20.0	-	6.7	13.3	-	3.3	20.0	-	10

4 農業経営に関する相談相手について
- 相談できると思う相手の有無 -

(1) 離農世帯

単位：%

区 分	回答者数	計	相談できると 思う相手がい た	相談できると 思う相手がい なかった	無 回 答	区 分
計	1 064	100.0	57.2	39.9	2.8	1
男 女						
男	961	100.0	57.3	39.8	2.9	2
女	103	100.0	56.3	41.7	1.9	3
年 齢						
40 歳 未 満	7	100.0	28.6	71.4	-	4
40 歳 以 上	1 057	100.0	57.4	39.7	2.8	5
経 営 部 門 別						
水 稲 ・ 陸 稲	727	100.0	55.6	41.3	3.2	6
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	83	100.0	63.9	33.7	2.4	7
果 樹 類	75	100.0	60.0	37.3	2.7	8
そ の 他 の 耕 種	124	100.0	63.7	34.7	1.6	9
畜 産 (養 蚕 を 含 む)	55	100.0	50.9	47.3	1.8	10

(2) 新規就農者のうち離農者

単位：%

区 分	回答者数	計	相談できると 思う相手がい た	相談できると 思う相手がい なかった	無 回 答	区 分
計	320	100.0	67.2	30.6	2.2	1
男 女						
男	278	100.0	68.0	29.5	2.5	2
女	42	100.0	61.9	38.1	-	3
年 齢						
40 歳 未 満	177	100.0	65.5	32.2	2.3	4
40 歳 以 上	143	100.0	69.2	28.7	2.1	5
経 営 部 門 別						
水 稲 ・ 陸 稲	97	100.0	70.1	27.8	2.1	6
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	91	100.0	64.8	33.0	2.2	7
果 樹 類	37	100.0	70.3	24.3	5.4	8
そ の 他 の 耕 種	65	100.0	67.7	30.8	1.5	9
畜 産 (養 蚕 を 含 む)	30	100.0	60.0	40.0	-	10

(つづき)

- 相談相手(複数回答) -

(1) 離農世帯

ア 相談した相手の方

区 分	回答者数	計	市区町村	農業委員会	農業改良普及センター	新規就農相談センター
計	609	100.0	2.6	6.2	15.9	0.8
男	551	100.0	2.9	6.0	16.5	0.9
女	58	100.0	-	8.6	10.3	-
年 齢						
40 歳 未 満	2	100.0	-	-	50.0	-
40 歳 以 上	607	100.0	2.6	6.3	15.8	0.8
経 営 部 門 別						
水 稲 ・ 陸 稲	404	100.0	2.7	7.7	13.9	0.7
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	53	100.0	-	5.7	20.8	1.9
果 樹 類	45	100.0	2.2	2.2	13.3	2.2
そ の 他 の 耕 種	79	100.0	2.5	2.5	24.1	-
畜 産 (養 蚕 を 含 む)	28	100.0	7.1	3.6	17.9	-

注：4 農業経営に関する相談相手について - 相談できると思う相手の有無 - (1) 離農世帯で「相談でき

イ 本来は相談するべきだったと思う相手の方

区 分	回答者数	計	市区町村	農業委員会	農業改良普及センター	新規就農相談センター
計	609	100.0	4.1	5.6	16.3	3.1
男	551	100.0	4.5	5.6	16.9	3.1
女	58	100.0	-	5.2	10.3	3.4
年 齢						
40 歳 未 満	2	100.0	-	-	50.0	-
40 歳 以 上	607	100.0	4.1	5.6	16.1	3.1
経 営 部 門 別						
水 稲 ・ 陸 稲	404	100.0	3.7	5.9	17.3	2.0
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	53	100.0	1.9	-	13.2	1.9
果 樹 類	45	100.0	4.4	2.2	15.6	8.9
そ の 他 の 耕 種	79	100.0	6.3	10.1	13.9	3.8
畜 産 (養 蚕 を 含 む)	28	100.0	7.1	3.6	14.3	10.7

注：4 農業経営に関する相談相手について - 相談できると思う相手の有無 - (1) 離農世帯で「相談でき

単位：%

農 協	指導農業士等の 先進農家	周辺農家	家族や親類	そ の 他	無 回 答	区分
36.0	7.6	44.5	47.1	3.0	2.8	1
35.2	7.4	45.4	46.5	2.7	2.9	2
43.1	8.6	36.2	53.4	5.2	1.7	3
-	-	50.0	100.0	-	-	4
36.1	7.6	44.5	47.0	3.0	2.8	5
34.2	6.9	44.6	49.0	3.2	3.5	6
45.3	3.8	49.1	35.8	1.9	1.9	7
44.4	6.7	42.2	55.6	-	2.2	8
34.2	13.9	43.0	44.3	3.8	-	9
35.7	7.1	42.9	35.7	3.6	3.6	10

「と思う相手がいた」を選択した者の回答

単位：%

農 協	指導農業士等の 先進農家	周辺農家	家族や親類	そ の 他	無 回 答	区分
19.4	10.8	12.8	14.4	1.8	44.7	1
19.1	11.3	13.4	14.7	2.0	43.6	2
22.4	6.9	6.9	12.1	-	55.2	3
100.0	100.0	50.0	-	-	-	4
19.1	10.5	12.7	14.5	1.8	44.8	5
19.3	9.7	12.4	13.6	1.7	44.8	6
11.3	11.3	15.1	15.1	1.9	52.8	7
28.9	11.1	17.8	17.8	2.2	35.6	8
21.5	16.5	13.9	16.5	2.5	44.3	9
14.3	10.7	3.6	14.3	-	42.9	10

「と思う相手がいた」を選択した者の回答

(つづき)

(2) 新規就農者のうち離農者
ア 相談した相手の方

区 分		回 答 者 数	計	市区町村	農業委員会	農業改良普及センター	新規就農相談センター								
計	1	215	100.0	5.1	2.3	22.8	1.9								
男	女	別													
男	女	性	2	189	100.0	4.8	2.6	22.8	2.1						
女		性	3	26	100.0	7.7	-	23.1	-						
年	齢	別													
40	歳	未	4	116	100.0	3.4	0.9	23.3	1.7						
40	歳	以	5	99	100.0	7.1	4.0	22.2	2.0						
経	営	部	門	別											
水	稲	・	陸	稲	6	68	100.0	4.4	2.9	23.5	-				
露	地	野	菜	・	施	野	菜	7	59	100.0	5.1	1.7	22.0	-	
果	樹	類	8	26	100.0	-	-	3.8	7.7						
そ	の	他	の	耕	種	9	44	100.0	9.1	4.5	27.3	4.5			
畜	産	(養	蚕	を	含	む)	10	18	100.0	5.6	-	38.9	-

注：4 農業経営に関する相談相手について - 相談できると思う相手の有無 - (2) 新規就農者のうち離農

イ 本来は相談するべきだったと思う相手の方

区 分		回 答 者 数	計	市区町村	農業委員会	農業改良普及センター	新規就農相談センター								
計	1	215	100.0	3.3	6.0	21.4	7.0								
男	女	別													
男	女	性	2	189	100.0	2.6	6.9	21.2	5.3						
女		性	3	26	100.0	7.7	-	23.1	19.2						
年	齢	別													
40	歳	未	4	116	100.0	1.7	5.2	23.3	8.6						
40	歳	以	5	99	100.0	5.1	7.1	19.2	5.1						
経	営	部	門	別											
水	稲	・	陸	稲	6	68	100.0	5.9	5.9	27.9	1.5				
露	地	野	菜	・	施	野	菜	7	59	100.0	3.4	6.8	20.3	13.6	
果	樹	類	8	26	100.0	-	-	23.1	3.8						
そ	の	他	の	耕	種	9	44	100.0	-	9.1	9.1	9.1			
畜	産	(養	蚕	を	含	む)	10	18	100.0	5.6	5.6	27.8	5.6

注：4 農業経営に関する相談相手について - 相談できると思う相手の有無 - (2) 新規就農者のうち離農

単位：%

農 協	指導農業士等の先進農家	周辺農家	家族や親類	そ の 他	無 回 答	区分
27.4	7.0	35.8	52.6	6.5	3.3	1
28.0	6.3	36.5	49.7	6.3	3.7	2
23.1	11.5	30.8	73.1	7.7	-	3
13.8	6.9	33.6	68.1	9.5	2.6	4
43.4	7.1	38.4	34.3	3.0	4.0	5
33.8	5.9	38.2	45.6	2.9	4.4	6
28.8	3.4	37.3	55.9	8.5	1.7	7
26.9	3.8	50.0	65.4	3.8	-	8
20.5	13.6	25.0	47.7	11.4	4.5	9
16.7	11.1	27.8	61.1	5.6	5.6	10

者で「相談できると思う相手がいた」を選択した者の回答

単位：%

農 協	指導農業士等の先進農家	周辺農家	家族や親類	そ の 他	無 回 答	区分
18.1	15.8	19.5	18.6	1.9	34.9	1
16.4	16.4	20.1	16.9	2.1	36.0	2
30.8	11.5	15.4	30.8	-	26.9	3
22.4	18.1	26.7	28.4	1.7	30.2	4
13.1	13.1	11.1	7.1	2.0	40.4	5
25.0	14.7	13.2	10.3	1.5	32.4	6
16.9	16.9	22.0	23.7	-	32.2	7
19.2	15.4	30.8	26.9	3.8	30.8	8
9.1	15.9	20.5	15.9	4.5	40.9	9
16.7	16.7	16.7	27.8	-	44.4	10

者で「相談できると思う相手がいた」を選択した者の回答

5 再度、農業経営を行う意向について

(1) 離農世帯

単位：%

区分	回答者数	計	考えていて、 準備をしている	考えている が、準備はし ていない	考えていない	無回答	区分
計	1 064	100.0	5.4	19.5	72.8	2.3	1
男 女							
男性	961	100.0	5.3	20.9	71.7	2.1	2
女性	103	100.0	5.8	5.8	83.5	4.9	3
年 齢							
40 歳 未 満	7	100.0	-	42.9	57.1	-	4
40 歳 以 上	1 057	100.0	5.4	19.3	72.9	2.4	5
経 営 部 門 別							
水 稲 ・ 陸 稲	727	100.0	4.7	19.0	74.3	2.1	6
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	83	100.0	8.4	25.3	63.9	2.4	7
果 樹 類	75	100.0	2.7	24.0	69.3	4.0	8
そ の 他 の 耕 種	124	100.0	9.7	16.1	71.0	3.2	9
畜 産 (養 蚕 を 含 む)	55	100.0	3.6	18.2	76.4	1.8	10

(2) 新規就農者のうち離農者

単位：%

区分	回答者数	計	考えていて、 準備をしている	考えている が、準備はし ていない	考えていない	無回答	区分
計	320	100.0	19.1	31.9	40.6	8.4	1
男 女							
男性	278	100.0	19.8	30.9	39.9	9.4	2
女性	42	100.0	14.3	38.1	45.2	2.4	3
年 齢							
40 歳 未 満	177	100.0	16.9	43.5	34.5	5.1	4
40 歳 以 上	143	100.0	21.7	17.5	48.3	12.6	5
経 営 部 門 別							
水 稲 ・ 陸 稲	97	100.0	22.7	20.6	48.5	8.2	6
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	91	100.0	20.9	33.0	36.3	9.9	7
果 樹 類	37	100.0	18.9	40.5	35.1	5.4	8
そ の 他 の 耕 種	65	100.0	12.3	36.9	43.1	7.7	9
畜 産 (養 蚕 を 含 む)	30	100.0	16.7	43.3	30.0	10.0	10

6 新しく農業を始める方に必要な方策・支援について（複数回答）

（１）離農世帯

区 分	回 答 者 数	計	就農前の相談 内容の拡充	就農前の研修 （技術指導） の拡充	就農前の研修 （技術指導以 外）の拡充	就農後の相談 内容の拡充
計	1	1 064	32.3	36.5	12.4	18.5
男 女	別 性					
男	2	961	33.8	37.7	12.8	18.7
女	3	103	18.4	25.2	8.7	16.5
年 齢	別 満					
40 歳 未	4	7	57.1	85.7	28.6	28.6
40 歳 以	5	1 057	32.2	36.1	12.3	18.4
経 営 部 門	別					
水 稲 ・ 陸 稲	6	727	30.4	36.6	12.0	18.6
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	7	83	32.5	45.8	12.0	21.7
果 樹 類	8	75	28.0	28.0	9.3	20.0
そ の 他 の 耕 種	9	124	43.5	34.7	17.7	19.4
畜 産（養 蚕 を 含 む）	10	55	38.2	36.4	10.9	9.1

（２）新規就農者のうち離農者

区 分	回 答 者 数	計	就農前の相談 内容の拡充	就農前の研修 （技術指導） の拡充	就農前の研修 （技術指導以 外）の拡充	就農後の相談 内容の拡充
計	1	320	41.6	31.9	16.3	23.4
男 女	別 性					
男	2	278	40.3	31.3	15.5	22.7
女	3	42	50.0	35.7	21.4	28.6
年 齢	別 満					
40 歳 未	4	177	41.8	36.7	22.6	31.1
40 歳 以	5	143	41.3	25.9	8.4	14.0
経 営 部 門	別					
水 稲 ・ 陸 稲	6	97	43.3	34.0	11.3	24.7
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	7	91	39.6	33.0	17.6	22.0
果 樹 類	8	37	37.8	35.1	35.1	29.7
そ の 他 の 耕 種	9	65	44.6	27.7	13.8	21.5
畜 産（養 蚕 を 含 む）	10	30	40.0	26.7	10.0	20.0

単位：%

就農後の研修 (技術指導) の拡充	就農後の研修 (技術指導以 外)の拡充	制度融資の拡 充	機械・施設整 備に対する補 助金の拡充	直接所得補償 制度の拡充	就農に関する 情報提供、P R・イベント 活動の拡充	生活・住宅面 における支援	そ の 他	無 回 答	区 分
28.0	10.6	22.2	40.2	24.8	12.8	18.3	4.2	15.7	1
29.0	10.8	22.6	41.0	24.8	12.6	18.0	4.2	14.3	2
18.4	8.7	18.4	33.0	25.2	14.6	21.4	4.9	29.1	3
71.4	42.9	57.1	71.4	28.6	14.3	42.9	-	-	4
27.7	10.4	21.9	40.0	24.8	12.8	18.2	4.3	15.8	5
27.2	10.3	22.4	42.0	25.4	13.8	17.3	4.4	16.1	6
31.3	12.0	20.5	33.7	15.7	9.6	19.3	7.2	10.8	7
33.3	9.3	18.7	33.3	34.7	9.3	24.0	2.7	9.3	8
30.6	12.9	20.2	38.7	23.4	12.9	19.4	3.2	17.7	9
20.0	9.1	30.9	40.0	20.0	9.1	20.0	1.8	21.8	10

単位：%

就農後の研修 (技術指導) の拡充	就農後の研修 (技術指導以 外)の拡充	制度融資の拡 充	機械・施設整 備に対する補 助金の拡充	直接所得補償 制度の拡充	就農に関する 情報提供、P R・イベント 活動の拡充	生活・住宅面 における支援	そ の 他	無 回 答	区 分
32.5	17.2	26.9	44.1	25.3	15.3	25.3	7.5	10.9	1
32.0	15.8	27.0	43.2	27.3	14.4	23.7	7.2	11.9	2
35.7	26.2	26.2	50.0	11.9	21.4	35.7	9.5	4.8	3
39.0	22.6	33.9	46.9	24.3	18.1	32.8	10.2	7.3	4
24.5	10.5	18.2	40.6	26.6	11.9	16.1	4.2	15.4	5
28.9	18.6	18.6	53.6	26.8	19.6	20.6	5.2	11.3	6
34.1	13.2	28.6	35.2	22.0	15.4	18.7	8.8	9.9	7
51.4	35.1	29.7	48.6	35.1	24.3	40.5	2.7	2.7	8
26.2	7.7	30.8	38.5	26.2	7.7	30.8	10.8	13.8	9
30.0	23.3	36.7	46.7	16.7	6.7	30.0	10.0	16.7	10

7 就農前の相談で重要となる内容について（複数回答）

（1）離農世帯

区 分	回 答 者 数	計	資金の借入・ 返済方法	収入確保の方 法	農地の借入・ 購入方法	労働力の確保 方法		
計	1	344	100.0	52.9	68.9	36.9	39.8	
男 女	別 性	2	325	100.0	53.2	69.8	37.2	39.4
男 女	性 別	3	19	100.0	47.4	52.6	31.6	47.4
年 齢	別 満	4	4	100.0	75.0	100.0	25.0	75.0
40 歳 未 以 上	5	340	100.0	52.6	68.5	37.1	39.4	
経 営 部 門 別								
水 稲 ・ 陸 稲	6	221	100.0	52.0	68.8	38.5	45.2	
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	7	27	100.0	44.4	70.4	29.6	25.9	
果 樹 類	8	21	100.0	42.9	76.2	23.8	33.3	
そ の 他 の 耕 種	9	54	100.0	59.3	66.7	38.9	33.3	
畜 産（養 蚕 を 含 む）	10	21	100.0	66.7	66.7	38.1	23.8	

注：6 新しく農業を始める方に必要な方策・支援について（1）離農世帯で「就農前の相談内容の拡充」

（2）新規就農者のうち離農者

区 分	回 答 者 数	計	資金の借入・ 返済方法	収入確保の方 法	農地の借入・ 購入方法	労働力の確保 方法		
計	1	133	100.0	51.9	60.9	42.1	26.3	
男 女	別 性	2	112	100.0	50.0	58.9	42.9	28.6
男 女	性 別	3	21	100.0	61.9	71.4	38.1	14.3
年 齢	別 満	4	74	100.0	56.8	56.8	40.5	23.0
40 歳 未 以 上	5	59	100.0	45.8	66.1	44.1	30.5	
経 営 部 門 別								
水 稲 ・ 陸 稲	6	42	100.0	50.0	66.7	45.2	31.0	
露 地 野 菜 ・ 施 設 野 菜	7	36	100.0	47.2	55.6	33.3	41.7	
果 樹 類	8	14	100.0	64.3	78.6	50.0	21.4	
そ の 他 の 耕 種	9	29	100.0	55.2	55.2	48.3	10.3	
畜 産（養 蚕 を 含 む）	10	12	100.0	50.0	50.0	33.3	8.3	

注：6 新しく農業を始める方に必要な方策・支援について（2）新規就農者のうち離農者で「就農前の相

単位：%

農業経営に関する技術の習得方法	地域の慣習や生活面の相談	各種補助金の活用方法	その他	無回答	区分
62.2	18.3	42.7	1.7	-	1
62.2	17.8	42.8	1.8	-	2
63.2	26.3	42.1	-	-	3
75.0	25.0	100.0	-	-	4
62.1	18.2	42.1	1.8	-	5
63.3	17.6	43.0	2.3	-	6
59.3	11.1	37.0	3.7	-	7
57.1	14.3	47.6	-	-	8
64.8	25.9	40.7	-	-	9
52.4	19.0	47.6	-	-	10

を選択した者の回答

単位：%

農業経営に関する技術の習得方法	地域の慣習や生活面の相談	各種補助金の活用方法	その他	無回答	区分
54.9	24.1	48.1	1.5	-	1
57.1	18.8	48.2	0.9	-	2
42.9	52.4	47.6	4.8	-	3
64.9	25.7	58.1	1.4	-	4
42.4	22.0	35.6	1.7	-	5
52.4	21.4	33.3	2.4	-	6
55.6	25.0	44.4	-	-	7
78.6	21.4	64.3	-	-	8
48.3	20.7	55.2	3.4	-	9
50.0	41.7	75.0	-	-	10

「談内容の拡充」を選択した者の回答

【参考】

秘
農林水産省

平成15年度食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査

近年まで農業を営んでいた方への意向調査票

(平成15年8月)

〔基本指標〕 (農林水産省職員が記入します。)

	局・取りまとめむか等	センター	市区町村	旧市区町村	農業集落	集計単位地域	調査区	農家
名称						/	/	/
コード	:	:	:	:	:	:	:	:

識別コード	性別	年齢	販売金額部門1位
	:	:	

将来にわたり、効率的かつ安定的な農業経営を確保していくためには、意欲ある農業の担い手を育成・確保していくことが重要となっています。

このため、本調査は、近年まで農業を営んでいたものの、現在は農業を営んでいない方が、就農時にどのような意識をお持ちになっていたかを把握し、今後の就農支援施策の検討に活用するために実施します。

調査結果は、個人の秘密を厳守し、調査の目的以外には絶対に使用することはありませんので、是非ありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

なお、この調査は、1995年農業センサスにおいて農家（経営耕地面積10a以上又は1年間の農産物の販売金額が15万円以上）であったものの、2000年世界農林業センサスでは、そうではなくなった方、1995年以降に新しく農業を始めたものの、現在は農業を営んでいない又は現在は農業従事者が従となっている方を対象に実施するものです。

もし、あなたが、現在、農家（経営耕地面積10a以上又は1年間の農産物の販売金額が15万円以上）であれば、御手数ですが、調査票は記入しないでそのまま返送願います。

また、調査について御不明な点がございましたら、御手数ですが、次の問い合わせ先に御連絡ください。

お問い合わせ先 _____

_____ 農政局 _____ 統計・情報センター

担当者： _____

電話番号： _____ () _____

Eメールアドレス： _____

問1 あなたが、農業を営んでいた理由は何ですか。

(該当する番号をすべて選択して回答欄に 印を付けて下さい。)

- 1 あとつぎだったから
- 2 自然や動物を相手にした仕事が好きだったから
- 3 自分の意志で自由に経営できると思ったから
- 4 高収入が期待できると思ったから
- 5 家族や親類からの勧めがあったから
- 6 学校(先生)や関係機関・団体(農協等)からの勧めがあったから
- 7 結婚した相手が農業を営んでいたから
- 8 安心・安全な食料生産をしたかったから
- 9 仲間が就農したから
- 10 他にやりたいことがなかったから
- 11 その他(具体的に)

回答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----

問2 あなたが、農業を営んでいたとき、難しいと思ったことは何ですか。

(該当する番号をすべて選択して回答欄に 印を付けて下さい。)

- 1 資金の借入・返済
- 2 収入の確保
- 3 農地の借入・購入
- 4 労働力の確保
- 5 栽培に関する技術の習得
- 6 簿記等の経営管理に関する技術の習得
- 7 農産物の加工・販売に関する技術の習得
- 8 農機具や機械・施設の操作・整備に関する技術の習得
- 9 地域の慣習や生活
- 10 その他(具体的に)

回答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

問3 あなたには、農業経営に関して、相談できると思う相手がい了吗か。

(該当する番号を1つ選択して回答欄に記入して下さい。)

- 1 相談できると思う相手があった
- 2 相談できると思う相手がいなかった

回答欄	
-----	--

【問3で「1 相談できると思う相手がいた」と回答した方にお聞きします。】

問4 あなたが、農業経営に関して、実際に相談した相手の方は誰ですか。また、本来は相談するべきだったと思う相手の方は誰ですか。

(該当する番号をすべて選択して、それぞれの回答欄に 印を付けて下さい。)

- 1 市区町村
- 2 農業委員会
- 3 農業改良普及センター
- 4 新規就農相談センター
- 5 農協
- 6 指導農業士等の先進農家
- 7 周辺農家
- 8 家族や親類
- 9 その他(具体的に)

回答欄	相談した相手の方	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	本来は相談するべきだったと思う相手の方	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問5 あなたが、農業経営をやめようと思った理由は何ですか。

(該当する番号をすべて選択して回答欄に 印を付けて下さい。)

- 1 高齢化や病気により体力的に厳しくなったから
- 2 家族の病気等、家庭の事情のための時間が必要となったから
- 3 あとつぎがいなかったから
- 4 農業以外の仕事をするようになったから
- 5 収益が低下し、十分な収入が得られなかったから
- 6 施設や機械を購入した資金の返済ができなかったから
- 7 農業経営に関する技術が不足していたから
- 8 地域の慣習や生活環境になじめなかったから
- 9 同世代の仲間がいなかったから
- 10 家族や親類からの意見があったから
- 11 その他(具体的に)

回答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----

問6 あなたは、機会があれば、また、農業を営んでみたいと考えていますか。

(該当する番号を1つ選択して回答欄に記入して下さい。)

- 1 考えていて、準備をしている
- 2 考えているが、準備はしていない
- 3 考えていない

回答欄	
-----	--

問7 あなたの経験を踏まえると、新しく農業を始める方には、どのような方策・支援が必要だと思いますか。

(該当する番号をすべて選択して回答欄に 印を付けて下さい。)

- 1 就農前の相談内容の拡充 -----▶ 選択した方は問8の回答もお願いします
- 2 就農前の研修(技術指導)の拡充
- 3 就農前の研修(技術指導以外)の拡充
- 4 就農後の相談内容の拡充
- 5 就農後の研修(技術指導)の拡充
- 6 就農後の研修(技術指導以外)の拡充
- 7 制度融資の拡充
- 8 機械・施設整備に対する補助金の拡充
- 9 直接所得補償制度の拡充
- 10 就農に関する情報提供、PR・イベント活動の拡充
- 11 生活・住宅面における支援
- 12 その他(具体的に)

回答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

【問7で「1 就農前の相談内容の拡充」と回答した方にお聞きします。】

問8 新しく農業を始める方には、どのような相談が重要になると思いますか。

(該当する番号をすべて選択して回答欄に 印を付けて下さい。)

- 1 資金の借入・返済方法
- 2 収入確保の方法
- 3 農地の借入・購入方法
- 4 労働力の確保方法
- 5 農業経営に関する技術の習得方法
- 6 地域の慣習や生活面の相談
- 7 各種補助金の活用方法
- 8 その他(具体的に)

回答欄	1	2	3	4	5	6	7	8
-----	---	---	---	---	---	---	---	---

その他御意見等がありましたら、以下に御記入下さい

御協力ありがとうございました。御手数ですが同封しました返信用封筒により御返送ください。

以下は農林水産省のホームページアドレスです。農林水産業に関する情報収集にお役立て下さい。
 農林水産省ホームページ <http://www.maff.go.jp/>

【利用上の注意】

1 調査の内容

本調査は、近年まで農業を営んでいたものの、現在は農業を営んでいない方を対象に、今後の就農支援施策の検討に資するため、農業経営時の困難さや課題等に関する意識・意向を把握したものである。

2 調査対象

(1) 離農世帯

1995年農業センサス時には農家であったが2000年世界農林業センサス時には農家でなくなった世帯全体のうち、農産物の「販売農家」(経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家)で、農産物の販売があった世帯(約16万7千世帯)。

(2) 新規就農者のうち離農者

1995年以降3年間における新規就農者のうち農業をやめた者又は農業従事に従になった者。

3 標本抽出等

(1) 離農世帯

農産物販売部門別構成割合に応じて整理したリストから、系統抽出法により3,000世帯(1995年農業センサスにおいて「生計について責任を持っている人」)を抽出した。

(2) 新規就農者のうち離農者

大臣官房統計部の平成14年農林水産業新規就業者等調査の母集団情報整備後のデータから2,124人を対象とした。

4 実施時期

平成15年8月上旬～8月下旬

5 調査方法

地方農政局及び地方農政局取りまとめ統計・情報センター(農林水産省組織規則(平成13年農林水産省令第1号。以下「組織規則」という。)第286条の5に規定するもの)、北海道統計・情報事務所、北海道取りまとめ統計・情報センター(組織規則第303条に規定するもの)及び沖縄総合事務局からの郵送調査により行った。

6 調査票の回収率等

	配付者数 (人)	回答者数 (人)	回収率 (%)
離農世帯	3,000	1,064	35.5
新規就農者のうち離農者	2,124	320	15.1

7 用語の説明等

- (1) 経営部門は、2000年世界農林業センサスにおける農産物販売金額が1位の部門の（水稻・陸稲、麦類、雑穀・いも類・豆類、工芸農作物、露地野菜、施設野菜、果樹類、花き・花木、その他の作物、酪農、肉用牛、養豚、養鶏、その他の畜産及び養蚕）を基に区分したものである。

なお、回答者数が少なかった部門については、次のように整理した。

ア 露地野菜及び施設野菜を「露地野菜・施設野菜」とした。

イ 麦類、雑穀・いも類・豆類、工芸農作物、花き・花木及びその他の作物を「その他の耕種」とした。

ウ 酪農、肉用牛、養豚、養鶏、その他の畜産及び養蚕を「畜産（養蚕を含む）」とした。

- (2) 統計表の各回答率は、各設問（各区分）の有効回答者数計を100.0とする割合である。

なお、標本誤差は回答者数と回答率によって異なっており、回答者数別の標本誤差の範囲（95%は信頼できる誤差の範囲）は、おおむね次のとおりであり、利用に当たっては注意願いたい。

標本誤差の範囲とは、例えば、ある選択肢の回答率が50%の場合、2,000戸を取りまとめた結果では、同調査（2,000戸を取りまとめ）を100回行ううちの95回は、47.8%～52.2%（50%の上下2.2%）の範囲の中に収まるというものである。

回答率 回答者数	10 % (又は90%)	20 % (又は80%)	30 % (又は70%)	40 % (又は60%)	50 %
2,000	± 1.3	± 1.8	± 2.0	± 2.1	± 2.2
1,000	± 1.9	± 2.5	± 2.8	± 3.0	± 3.1
500	± 2.6	± 3.5	± 4.0	± 4.3	± 4.4
300	± 3.4	± 4.5	± 5.2	± 5.5	± 5.7
100	± 5.9	± 7.8	± 9.0	± 9.6	± 9.8
50	± 8.3	± 11.1	± 12.7	± 13.6	± 13.9
30	± 10.7	± 14.3	± 16.4	± 17.5	± 17.9
10	± 18.6	± 24.8	± 28.4	± 30.4	± 31.0

注：標本誤差の範囲は、 $\pm 1.96 \times \sqrt{\frac{\text{回答率} \times (1 - \text{回答率})}{\text{回答者数}}}$ により求めた。

- (3) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない。
- (4) 統計表に使用した記号「 - 」は、事実のないことを表す。
- (5) 統計表の数値の中には、回答者数の少ないものもあるので、利用に当たっては、十分注意されたい。

連絡先

農林水産省 大臣官房 情報課 業務第2班

電話(代表) 03(3502)8111 内線2577

(直通) 03(3502)8449

この資料は、農林水産省ホームページ【<http://www.maff.go.jp/>】の「施策の動き・情報 食と農林水産業の地域情報」で御覧いただけます。